

令和3年度 第1回地域福祉活動計画推進委員会 議事録

日時 令和4年3月15日（火）

午前10時から

場所 地域福祉会館3階 研修室

出席 別紙参照

1 開 会

2 案 件

（1）第4次地域福祉活動計画について

- ・第4次地域福祉活動計画の説明

（参照：第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画冊子）

（2）第4次地域福祉活動計画の進行管理について

- ・計画の進行管理表により説明（参照：進行管理表）

【基本目標1 意見】

委員

- ① 方針2の② 多機関協働ネットワークの推進の中で、特に子育て支援に携わる関連団体とどのように連携を取り、課題に取り組んでいるか？

事務局

民生委員児童委員地区委員長連絡会を通じて、主任児童委員へは協力依頼など連絡事項の伝達を行っている。また、民生委員児童委員の方々から直接子育て世帯に関する相談を受けて支援につなげることもある。また、子育て支援に関係する支援機関とは、CSWが相談者のケースごとに普段から連携をとりながら、支援活動を展開している

委員

学校や保育園との連携はどのようにしているか？

事務局

学校については、スクールソーシャルワーカーを通じて、CSWの対象者の情報共有などをさせていただいている。
保育園については、民間社会福祉施設連絡会の事務局を担っている関係から、各保育園の担当者との顔合わせを行っている。

委員

今後、地域福祉活動計画の推進委員体制を見直すことがあれば、保育園

など子育て分野からの委員の選出を検討してほしい。

委員

- ② 社協だよりの紙面をカラー刷りにするなど、読みやすくするような工夫に取り組んでいただけないか？

事務局

1月号はフルカラーで紙面を発行しているが、予算の関係からすべてカラー刷りは難しいが、レイアウトなど工夫により見やすい紙面を目指していく。編集委員会の委員にも相談して検討していきたい。

委員

編集委員会はメンバー構成としてボランティアに偏っているところがあるので、困りごとを抱える方にも届きやすい広報誌づくりを目指してほしい。

委員

- ③ コロナ禍において高齢者に向けた ICT 活用を進めているが、障がい者団体も活用が進んでおらず、拠点となる施設の設備も整っていないところが多い。
- また、地域でも障がい児者との交流会がコロナ禍の影響を受けて活動できていないところが多く、取り組みの工夫や環境整備の必要性を感じるため、社協としても多方面への働きかけを行ってほしい。

事務局

障がいのある方との懇談会については、コロナ禍の影響を受けて活動自粛を余儀なくされているが、交流が途絶えないよう工夫して取り組んでいる地区もある。目標2で詳しく説明をさせていただく。

委員長

- ④ 一年前の会議でも ICT 活用について意見があり、今回のオンライン活用が進んでいることは一歩前進だと感じる。施工予定の新しい会館では Wi-Fi などの設備が整備されるのか？

事務局

新しい会館でも Wi-Fi 環境の整備は検討している。

また、環境整備については、社協だけで整備を進めていくことは、難しい側面もある。市全体の中で検討を進めていくものとして考えていきたい。

委員長

環境整備についての限界はあると思うが、活動の工夫ができる部分もあるかと思われるので、今後も検討を進めていただきたい。

委員

- ⑤ 社協だよりの点字版紙面がどこにあるかが分かりにくい。どこに配架されているか周知を図る必要があるのではないかな？

事務局

社協だよりについては点字版、DVD 版があるので、広報誌等の中でどこに配架されているかの周知を図っていく。

委員

チラシで周知を図るなど周知強化に向けて検討していったほしい。

委員長

- ⑥ 地域で相談を受け止める体制づくりにおいて、達成された場合のイメージが身近な地域で気軽に相談できるとなっているが、「福祉のまちかど相談」がコロナの影響前と後で何か所ほどあるか教えてほしい。

事務局

「福祉のまちかど相談」の開設地区数については、コロナ影響前が 14 地区、コロナ影響後が 16 地区で開催されている。

委員長

高槻は 37 地区あり、現時点では半分ほどでの開設となっている。今後も拡充を進めていったほしい。

委員長

- ⑦ 生活困窮者に対する支援として、生活福祉資金貸付が挙げられているが、貸付での相談後の支援として、対象となる方へ提案している具体的な取組みについて教えてほしい。

事務局

貸付の相談者の中で必要な方には関係機関と連携した支援や食品預託払い出し事業を通して支援などを実施している。また、気軽に相談できる窓口であると知ってもらうことにより、精神的に安心してほしいと考えている。子育て中の相談者もいるため、子ども食堂などの多団体と連携してサポートを進めていきたいと考えている。

事務局

生活困窮については貸付の相談件数も大変多くなっている。一方で市の生活保護のケース数はそれほど上がっていないことを考えると、貸付の効果が大きいことが分かる。貸付は申請後95%は審査に通っているため、筒井委員が言われていたように貸付支援実施後のサポート体制が必要だと考える。

委員長

貸付については今後も必要とされる方が来所されることが見込まれる。また、生活保護受給に抵抗がある人も多いので、総合的な生活相談により生活困窮者を支援していくことは重要と感じる。

委員

- ⑧ 方針の2-3「他機関協働ネットワークの推進」について、市が重層支援体制整備事業については令和5年度から実施に向けて、現在協議を重ねているところ。今後も、多職種での連携を重ねながら進めていきたいと考えている。

委員長

重層的支援体制事業については、各自治体が取り組んでいるが、社協の活動全般的に係ってくる事業ではあるので、関係のある団体が重層的に関わりあいながら進めていってほしい。

【基本目標2 意見】

委員

- ① 方針1-1の高齢者地域支えあい事業について説明があったが、シニアクラブでも1500人くらい1人暮らしの高齢者がいるが、新規の会員が増えず、クラブも解散することが増え、退会した方に対しての見守りとして民生委員児童委員などの見守り活動の実践者と連携していきたいと感じている。

委員長

- ② 【副委員長への質問】地区福祉委員会の活動は今どんな状況か

副委員長

地区福祉委員会は活動がほとんどできておらず、弁当の配食を実施して対象者の見守りを実施している。活動を実施しているが、コロナ禍の影響によりなかなか実施できていないのが現状である。

委員長

【事務局への質問】 コロナ禍での地区福祉委員会活動はどんな状況か？

事務局

地区福祉委員会活動については、コロナ禍の影響により活動ができていない地区は多い。ただ、リハビリサロンについては、閉じこもり防止のため、工夫して継続している地区は多い。

ICT 活用がコロナ禍で進んでおり、津之江地区においても ICT 活用に向けた講座を実施するなど、活用に取り組む地区が増えている。このように、各地区で活動の工夫が行われている。

委員

- ③ 地区福祉委員会活動の中で一人暮らし高齢者への見守りを行っているとのことだが、民生委員児童委員との関りはあるのか？

事務局

地区福祉委員会の中で、民生委員児童委員との連携はとっている。民生委員児童委員の立場の方が地区福祉委員会のボランティアを兼ねている方が多く、連携しながら活動に取り組んでいただいている。

委員

- ④ 福祉施設による地域貢献活動の発展に向けた仕組みづくりについて。
介護保険の報酬改定が数年前に実施され、その中でデイサービスに地域との連携が求められるようになったが、どのように連携すればよいか困っている事業所もあると見受けられる。社協としてのサポートの必要性を感じるので、サポート体制を拡充してほしい。
また、同じ改定の中で災害についての取組みも挙げられているが、これについては柳川地区で実施されている防災ワークショップなどの取組みにも参加していきたいと考えている。

事務局

介護保険事業については生活支援コーディネーターを配置しているため、高齢者生活支援ネットワークや個別の相談を受け付ける体制を構築しており、必要に応じてボランティアや他団体の活動の紹介、活動の周知などの協力を行っている。

【基本目標 3 意見】

委員

- ① 計画とは直接関係はないが、最近学校等への情報提供が難しくなっている。社協や他団体の情報発信における活動の中で、有用な情報があれば

教えてほしい。

事務局

情報提供に関しては、担当部署によって方針が異なるため、担当部署に直接相談していただくほうがよいかと考える。

委員長

② 方針3の社会福祉協議会事業の啓発の中で、LINEによるオンライン相談について記載がある。10代の方はLINEの相談が必要と考えられるが、相談状況について教えてほしい。

事務局

個人情報漏洩の問題があり、個別の相談をLINEでは実施していない。あくまでも福祉のまちかど相談においては、LINEのテレビ電話を活用して実施している。

10代の方はラインでの相談は有用と考えるが個人情報保護の問題があるため、個別相談はメールでのやりとりをするようにしている。

委員

個人情報の問題の通知はどこから？

事務局

総務省からの通知を参考にしている

委員

それでいえば、ZOOMも同様と考えられ、すでに解消されているのではないか？

事務局

現在でも個人情報を扱う場合は、サーバーを扱う業者に情報の保存を依頼することが推奨されており、予算の問題から難しいと考えている。

委員長

③ 進行の取り組み状況の中に、具体的な数値があったほうが前年度との比較もでき、分かりやすいと考えるので事務局で検討してほしい。

事務局

いただいた意見を参考に検討していく。